

# 集 tsudoi



兵庫の建築  
Architecture of  
HYOGO

洲本アルチザンスクエア「旧鐘紡洲本工場」2007年近代化産業遺産認定 所在地 洲本市塩屋 改修竣工年 2001年

洲本アルチザンスクエアは、市の発展を支えた西日本有数の紡績工場をリノベーションした建物の内の一つである。外壁はイギリス積み煉瓦造を残し、屋根は越屋根で鉄筋コンクリート造、鉄骨造となっている。旧カネボウ紡績工場は、明治から大正時代にかけて、次々と建設されたが、昭和62年に閉鎖され、その後、工場跡地を保存・活用する構想が策定された。まず、原綿倉庫などであった建物を、ミュージアムパークアルファピアとして美術館とレストラン（\*現在は閉鎖している。）に整備。続いて、工場汽缶室をレストランと特産品直販店御食国（みけつくに）に改修。紡績第2工場を改修した市立図書館は、「一度は訪ねたい美しい図書館」に選ばれ、平成11年に兵庫県人間サイズまちづくり賞を受賞したのをはじめ建築関連の賞を多数受賞するなど高い評価を得ている。洲本アルチザンスクエアは、平成13年に複合商業施設として工場汽缶室を改修したものである。元々の煉瓦建造物は、明治42年から大正6年の間に建設され、昭和21年の南海地震や平成7年の阪神・淡路大震災を耐え抜いた建物である。これらの施設は、もはや再生が困難な国内でも数少ない施設であり、淡路島の産業革命のシンボルでもある。中央に市民広場を囲い、重厚な赤煉瓦造りの建造物が立ち並ぶ様は、ノスタルジックな空間を生み出している。周辺に整備された文化体育館と健康福祉館も景観を調和するよう配慮された建物になっており、市の中心的な観光スポットとなっている。

文・写真 岡崎 雅彦（淡路支部）



目次	P.1	兵庫の建築・洲本アルチザンスクエア「旧鐘紡洲本工場」
	P.2	令和元年度 木造の防蟻処理講習会 事業報告・ぎふ見学会 活動報告
	P.3	北播磨支部 事業報告
	P.4	令和元年度 東西アスファルト事業協同組合助成事業 実施報告

メール配信と名簿のご案内

「集 tsudoi」誌面に掲載できない情報などを「兵庫県建築士会メールニュース」として配信しています。受信希望の方はホームページからメール配信登録をしてください。またホームページの名簿への掲載を希望される方は会員建築士名簿のページからお手続きください。

